

**平成27年春、第2回全国キリシマツツジサミットが本市で開催**



前島 広紀 議員  
動画視聴

**問** 古文書によれば、今から300年から400年前は、霧島連山に多くのキリシマツツジが群生しており、その花がたく

**市街地周辺に児童館を建設できないか**



阿多 己清 議員  
動画視聴

**問** 母子世帯等への支援策として、特に夜間、児童等を預かることのできる施設が必要だ。児童クラブ、学習の場、憩いの場、子育て支援のための総合的な施設、24時間預

さん咲けば、山々が赤く燃え上がるようで、その美しさは言葉では説明ができないほど見事であったそうである。現在、連山周辺にはほとんど存在していないが、日本各地においては、その古木が何百年も成育し、大切に守り育てられている。

原産地の霧島連山周辺の各自治体が連携して、わずかに現存する古木の保護と、国分中央高校での増殖、また、市民への



国分春山のキリシマツツジ

啓発のため、お祭り広場の一角に記念植栽はできないか。

**河川の浚渫等は定期的にを行うべき**

**問** 郡田川や手籠川は、草木の繁茂や寄り洲などで大変見苦しい。堆積除去等の計画はどうなっているか。

**答** これらの区間は、県の寄り洲除去計画に掲載されていないが、県には要望しているので、早期に実施できるよう再度要請していきたい。

※浚渫とは、水底をさらって土砂や岩石を取り去ることです。



郡田川青葉橋付近

**答** これまで霧島連山希少植物保全調査会を中心に、各地の関係団体と交流が行われているが、来年のサミットを契機に市内での植栽を進めていく。

**その他の質問**

- ・自治体法務について
- ・農村の環境保全に関する取り組みについて

**市営住宅・教職員住宅の健全な管理を求める**



松元 深 議員  
動画視聴

**問** 市営住宅・教職員住宅は老朽化が進み、長年、空き部屋、空き家が増加している。廃止、建て替え等の今後の対策について問う。

**答** 公共施設マネジメント計画の中でも検討の対象である。老朽化している住宅については、計画的に整理していく。教職員住宅についても、教育委員会と協議の中で、廃止など含め整理を進める。



摘採機による茶摘み風景

ことは大変名誉なことである。しかし茶生産を始め、農家は価格低迷などで大変厳しい経営状況である。経営安定のために、降灰対策事業に対し、市の上乗せ補助はできないか。

**降灰対策事業に市の上乗せ補助はできないか**

**問** 第68回全国茶品評会において、2年ぶりに霧島市が産地賞を受賞した

**答** 降灰対策事業は、国、県の大変有利な補助事業である。市としての上乗せ補助はできないが、制度の変更などで、制度の変更などでも灰除去機を購入でも灰除去機をつけることで降灰対策事業を適用できるようにした。これからも農業振興のために、有利な補助事業の活用を進めていく。

**霧島市土地開発公社の早期解散を**



宮本 明彦 議員  
動画視聴

**問** 本年6月に「霧島市土地開発公社解散プラン」が示された。解散の時期を平成31年3月末としている。管理費の負担を抑えるためにも解散の前倒しを考慮すべきではないか。また、民間への土地売却もこれまで以上に力を入れるべきではないか。

**答** 早い段階で解散が可能になった場合は、速やかに解散の手続きを進めたい。また、市が取得を依頼した土地のうち、市が必要としない土地については、今後、公募を行っていく。

**空き家対策を早期に具体化するべき**

**問** 本年3月に策定された「霧島市空き家対策基本方針」に従って対策が進行していると考える。いつまでに、どの部署が中心になって進めようとしているのか、対策実施のスケジュールを問う。

**答** 基本方針ができたばかりである。今後、この方針に基づき具体的な施策に取り組んでいく。また、空き家対策の条例など、国の特措法の成立待ちであるが、その内容も分かりつつあるので、特措法の成立に先んじて条例を制定し、早期の空き家対策に努めたい。

**国民健康保険の現状を問う**



下深迫 孝二 議員  
動画視聴

**問** 国民健康保険加入者は、個人事業主や定年退職者及びアルバイト生計者、大学生、無職者が多く入っている。高齢者も多く医療費も多額に及ぶが、①1年間の収入に対

②一人当たりの支出最高額はいくらか。③滞納額はいくらか。

**答** ①歳入額は約147億7260万円、歳出額は約148億5530万円、年間約8300万円の赤字である。②一人当たりの支出の最高額は、年間約1948万円、自己負担額は約18万円である。③滞納額は、現年度分約2億4000万円、過年度分約7億3000万円、合計約9億7000万円である。



県畜産共進会へ出品した肉用牛

**畜産振興の現状はどうか**

**問** ①牛農家数と牛の頭数及び養豚農家数と豚の頭数を問う。②ブロイラー農家数と鶏数を問う。③県において、黒さつま鶏の生産を始めたが成果はどうか。

**答** ①肉用牛生産農家数592戸、飼養頭数6866頭、肥育農家数31戸、飼養頭数7190頭、乳用牛の飼養農家数17戸、飼養頭数1361頭である。養豚農家数25戸、飼養頭数3万2540頭である。②ブロイラー農家数29戸、飼養羽数175万9000羽である。③黒さつま鶏は、本市の5農場が飼養し、飼養羽数は3万2500羽であり、出荷羽数は年々伸びている。



霧島市が購入した開発公社の土地（国分川内）